

## 第9回豊明市二村台地区新設校開設準備委員会

日 時 令和3年1月14日（木） 午後6時30分から午後8時00分  
場 所 豊明市役所中央公民館2階ホール  
出 席 者 土屋武志委員長、下出修史副委員長、近藤芳樹委員、小島博司委員、栗永彩香委員  
加藤貴稔委員、古川和男委員、佐藤敬子委員、川地正晃委員  
欠 席 者 無  
事 務 局 教育長、教育部長、学校支援室長、学校教育課長、学校教育課職員  
傍聴の有無 無

- 議 題
- 1 協議事項  
校訓、教育目標、生活のきまり及び年間行事計画について  
閉校式、開校式について
  - 2 報告事項  
校舎改修工事の進捗状況について  
登下校時の見守り活動について（現唐竹小学校区）
  - 3 その他
  - 4 諮問に対する報告について

### 議 事 録（要旨）

#### 1 委員長 あいさつ

この会議の前に、二村台小学校の開校に向け、今年予定していた改修工事をほぼ終えた校舎を見させていただきました。双峰小学校と唐竹小学校の2つの学校の子どもたちが二村台小学校という新しい学校で、のびのびとした環境の中で楽しく学んでいく姿が目には浮かび、いい学校になるのを確信したところでもあります。事務局の皆様は、長い間、ご苦労されたのではないかと思います。特に今年度は、新型コロナウイルスの対応、次年度からのGIGAスクールに向けた対応、同時進行で新設校づくり、大変だったのではないかと思います。その中で、学校の先生の意見を踏まえながら、改修工事が進んでいると思いました。委員の皆様には、いろんな角度からいろんな意見を出していただきました。それらは、すべて子どもの視点からの意見だったと私は思います。それが事務局にも伝わり、新しい学校づくりに進んでいったのではないかと思います。本当に感謝申し上げます。今回が第9回の開設準備委員会となり、最後の委員会です。閉校及び開校のことについて議題にしたいと思います。開設準備委員会としては最後になりますが、慎重な審議をお願いいたします。

#### 2 教育長 あいさつ

委員長からのお話にもありましたように、皆様には、3年間という長い間、9回にわたる会議にご参加いただきありがとうございます。皆様には多方面からのご意見を賜りまして、本当にありがとうございます。特に、両校の先生方には、この3年間、相当ご苦労をおかけいたしましたし、今回の工事にあたりまして、業者への指示や相談等の対応をしていただき感謝申し上げます。会議は本日で終了いたしますが、4月の開校に向けて最後の詰めの段階に入りました。本日の会議でも、いろいろと決めていただくことはございますが、最後の詰めとして、きちんと

した形でご意見を頂いて、それを開校に向けて反映していきたいと思っております。本日もよろしくお願いたします。

### 3 議題

#### (1) 協議事項

##### ① 校訓、教育目標、生活のきまり及び年間計画について

事務局より「校訓、教育目標、生活のきまり及び年間計画について」資料に基づき説明を行う。

委員長 このことについて、いかがでしょうか。

委員 二村台小学校は、児童数が400人を超える予定です。外国籍の子どもたちは、日本語を話せる子どもたちを含めても100人を超えます。国籍も日本を入れて5、6カ国はあるだろうと予想されます。子どもたちの一人一人を大切に、一人一人が自分の得意な分野を伸ばしていけるような学校にして行けたらなと思っております。豊明市で一番新しい学校ということを鑑みて、校訓を協議させていただきたいと思っております。

委員長 子どもたち一人一人を大切にするというとても重要なお話でした。校訓や教育目標を決定する上で、新しい学校として考えるならば、先生たちの目線で校訓を考えがちですが、その裏には、子ども一人一人が大切にされるということが表現されていると教員も子どもたちも思えることが大切だと思います。子どもたち一人一人を大切にするという思いが活かされるような決定になればいいなと思っております。校訓、教育目標は両校長に委任し、生活のきまり、年間行事計画については開校までに両校の教員で決定するという事で決定してよろしいでしょうか。

各委員から異議などなし。

委員長 校訓、教育目標は両校長に委任し、生活のきまり、年間行事計画については、両校の教員に委任するという事にします。

##### ② 閉校式、開校式について

事務局より「閉校式、開校式について」の説明を行う。

委員長 市と教育委員会が主催ということですが、学校の先生たちはどのような関わりになりますか。

事務局 学校の先生方にご協力をいただきながら、開催します。閉校式につきましては、新型コロナウイルスの状況にもよりますが、学校期間中ですので、児童に参加してもらいます。開校式は、春休み中ですので、児童は参加せず、市が行います。その代わりに、4月の新型コロナウイルスの状況次第になりますが、児童を主体とした開校行事を学校主催でやっていただきたいと思いますと考えております。

委員長 校旗や二村台小学校の名板の付け替えはどうなりますか。

事務局 校旗については現在、学校の先生の意見をお聞きしながら作成しております。正門に付く二村台小学校の名板は、開校までに取り付けさせていただきます。

委員長 他にご意見などはいかがでしょう。

各委員から異議などなし。

委員長 閉校式、開校式について、異議なしとします。

## (2) 報告事項

### ① 校舎改修工事の進捗状況について

事務局より「校舎改修工事の進捗状況について」の報告を行う。

委員長 このことについて、ご質問などはございますか。

各委員から質問などなし。

委員長 工事の変更が出た場合や機械のメンテナンス等はどうなりますか。

事務局 改修工事につきましては、設計図面のとおり工事を行い、変更がある場合は、その都度内容を変更して工事を進めます。その後、不具合が生じた場合は、修繕や保守で学校から要望を出してもらい、学校教育課もしくは学校から発注して対応します。

### ② 登下校時の見守り活動について（唐竹小学校区）

事務局より「登下校時の見守り活動について（唐竹小学校区）」の報告を行う。

委員 唐竹小学校のPTAを3年間やらせていただきました。開設準備委員会や総務部会、また唐竹小学校のPTA部会で見守り活動について先生方と話し合いをしました。唐竹小学校では、今まで見守り活動を行っていなかった地区もありましたが、今回承認をもらい、来年度から全員行うことになりました。そして、今年度、場所の見直しも行いました。今までは、唐竹小学校の前等、交通量が少なく、そんなに危険ではない場所に立っていましたが、保育園の前など遠くても危険な場所に立とうということになりました。場所が遠いので駐車場をお借りして、働いている人はそのまま出勤できるようにします。

歩道橋や白線についても、市役所の方に調整していただき、直していただきました。これが始まりですので、不都合が出てきたら、その都度見直します。また、必要な場所には信号も継続して要望を出し、もし信号機がついた場合は、そこの人を別の場所に立ってもらおうなど、柔軟に対応していきたいと思います。

委員 見守り活動の人数ですが、現時点で、間米区は5名、二村台1区は8名、2区は1名です。いずれも高齢の方が多いので、若い方にも声をかけて手伝っていただけたらと思います。

委員長 合同見守り隊ということで、大変なご苦勞をされたと思います。新しい動きを地域づくりに活かしていくような活動になると思いますので、私も関心をもって見守っております。

委員 今までの経験上、見守りにとって大切なのは、子どもの登下校に関心をもってもらうことです。担当ではないから、というのではなく、生活の一部にしてもらい、買い物に出かけるついでに見守りをしてもらいます。子どもを注意するのではなく、優しい表情で思いやりをもって見守りをすることが大切です。以上が長く見守りを続けることにつながると思います。

委員長 合同見守り隊の計画策定や打合せは誰がやりますか。学校の先生や教育委員会は加わりますか。

委員 私が行きます。学校の先生たちにも打合せに参加してもらったり、駐車場を借りるのに教育委員会が動いてくれたりしています。

委員長 ノウハウの共有や見守り活動の基本的な体制など、防犯をふくめ、子どもの成長を見守ることを若い世代へ引継ぐことが必要だと思います。新設校の開校を前提として、地域、学校、教育委員会の3者が意識し、今後に引き継いでほしいと思います。他にご質問などはございますか。

各委員から質問などなし。

### (3) その他

委員長 唐竹小学校の跡地はどうなりますか。

事務局 唐竹小学校の跡地についてですが、閉校後、企画政策課が中心となって改修を行っていきます。「交流・まなび・あそび・子育て支援拠点」という基本方針をもとに、子育て支援拠点、多世代交流拠点、生涯学習拠点の3つの拠点を位置づけています。子育て支援拠点は、児童に対する支援ということで、児童発達支援センターや子育て支援センターを整備します。多世代交流拠点は、市民交流センターや若い世代が交流できる施設、地域の様々な方が交流しながら話し合いができるような施設を整備します。生涯学習拠点は、歴史民俗資料室や様々な講座を行う施設を整備します。来年度の閉校後、すぐに工事に取り掛かり、令和4年度にオープンします。

委員長 豊明市はいい市ですね。新設校統合は、1つの学校がなくなりマイナスになるイメージがつくはずですが、もう1つの学校の跡地が、別の拠点として作られれば、より良い環境が生まれます。子どもにとっては、学校以外にもう1つの活動の場所ができ、非常に良い取り組みだと思います。新設校統合がいい街づくりにつながるモデルになるような印象を受けました。ぜひ、地域の人たちの声を聞きながら進めてください。他にご質問などはございますか。

各委員から質問などなし。

## 4 諮問に対する報告について

委員長 第1回の開設準備委員会で教育長より諮問を賜りましたので、委員会として報告をする必要があると考えています。すでにすべての内容について委員会で決定していますので、その内容を事務局でまとめ、私が内容を確認したうえで、代表して教育長に報告す

ることにしたいと思いますが、いかがですか。

各委員から異議などなし

委員長 それでは、私の方から教育長に報告させていただきます。

最後の委員会となりますので、委員の皆様からひと言ずつお願いします。

委員 子どもたちが大きくなってまた地元に戻ってきてくれるのを楽しみに、見守り活動をしています。唐竹小学校の皆さんにも、新しい二村台小学校で会えるのを楽しみにしています。ありがとうございました。

委員 子どもたちを安全に登下校させることに努力してまいりました。高齢化も進み、地域の子どもに対する目線も希薄になっています。今後、いかに子どもを見守る地域にしていくのが最終的な目標です。また、唐竹小学校の跡施設の多世代交流館は、人との交流が少ない現在、様々な人との交流の場を作ろうという目的で作られます。様々な人が集まって、コミュニケーションが取れるような多世代交流館にしていきたいと思っています。長い間、ありがとうございました。

委員 私は、今年からこの委員会に参加したので、会議には2回しか参加していませんが、参加したことにより、地域の問題や多くの方が関わって統合できたことを知ることができたので良かったと思います。二村台小学校も楽しみになりましたし、唐竹小学校の跡施設についても知ることができ、すごく楽しみになりました。短い間でしたが、参加させていただき、ありがとうございました。

委員 第1回から9回までの委員会と部会に参加させていただきました。3年前に教頭先生からPTA会長のお話をいただき、その段階で統合の話は決まっていたので、統合するからには、子どもたちが気持ちよく学校に通えるようにやるしかないということで、先生方や教育委員会、PTAの役員や委員さん、様々な方と打ち合わせを行いここまでこられたと思います。そして、ここからがスタートだと思いますが、新しい学校になっても、見守っていききたいと思います。

委員 開設準備委員会には愛知県教育委員会の尾張教育事務所から3年間で3人の課長が携わらせていただきました。ありがとうございました。私は、7、8、9回に参加しました。校訓についてですが、学校経営の柱になるところだと思いますので、これから先を見据えて、二村台小学校の特色を活かせるように考えていただければと思います。子どもたちがこれによって楽しく学べる環境になればと思います。ありがとうございました。

委員 双峰小学校と唐竹小学校の子どもたちが、二村台小学校での学校生活が送れるようにそれぞれの立場で力を尽くしてくださり、大変ありがとうございました。唐竹小学校も残り2か月になりましたが、子どもたちが二村台小学校での新たなスタートを楽しみにして、力を発揮できるようにしっかりと指導して行きたいと思っています。ありがとうございました。

委員 現在、双峰小学校も唐竹小学校も人数が少ない学校ですが、統合後は、少人数の良さ

も持ちながら、子どもたちが多くなり、頑張るぞという気持ちにつながるのではないかなと期待しております。素晴らしい学習環境も作っていただきましたので、その中で、のびのびと楽しく学んでくれるような二村台小学校になるといいなと思っております。

先日、双峰小学校の卒業生の方が来て、ぜひ双峰小学校のために何かしたいというお話をいただきました。二村台小学校も、卒業生にそんな風に思ってもらえるような学校になるといいなと強く感じました。ご配慮いただき、学校もきれいにしていただき、ありがとうございました。開校まで2か月、大切に校舎を使わせていただき、両校を統合していったらいいなと思っております。1年間ありがとうございました。

委員 唐竹小学校の校長として2年、学校支援室に3年、そして現在は校長会の代表として3つの視点から思うことは、二村台小学校の開校にあたり、子どもたちの課題も感じております。1つ目は、外国籍の子どもたちの一人一人を大切にすると同時に家庭も大切にすることです。開校したら、子どもと同時に家庭も支援できるような、支援センター的な役割になるような学校を目指して行けたらと思っております。2つ目は、学力についてです。二村台小学校は、ICTの環境整備が素晴らしいので、機器を活用すれば、子どもたちの学力向上につながると確信しております。視察校となるようなモデル校としての学校づくりを進めると同時に、外国籍の方も日本国籍の方も豊明市に住みたくなるような学校づくりや街づくりにつながるといいなと思っております。

委員長 私が参加する会議で午後6時30分から始まる会議はあまりないのですが、地域の人たちが一緒に参加する会議においては、この時間帯は大切な時間帯だと思いました。委員会では、子どもたちをよく見ている方々、そして学校のことをよく考えている方々から毎回新鮮なお話が聞けて、すごく勉強になりました。豊明市は、変わっていくことに対して前向きな地域だと感じましたので、子どもを育てるのに恵まれた環境だと思いません。統合は大変なプロセスを踏まれたと思いますが、新設校という形で解決し、非常にいいモデルを作られたと思いますので、多くの人に豊明市を勧めたいと思います。今後の二村台小学校の子どもたちの成長や環境の整備を注目しながら見守りたいと思っておりますので、今後ともご縁を大切に、よろしく願いいたします。

教育部長 あいさつ

本日はありがとうございました。第1回を振り返ってみますと、開設準備委員会を設置する条例、学校名をどう決めていくか、というところからスタートしました。学校条例の改正は重要案件でしたので、議員の3分の2の賛同、さらに議長の賛成を必要とする手続きでした。どういった学校になるのか、大丈夫なのかという一般質問も非常に多くいただき、いろいろ勉強できました。3年間ありがとうございました。開設準備委員会の設置条例を3月に廃止し、最後までしっかりやっていきたいと思っております。委員の皆様はじめ、多くの方にご協力いただき、本当に感謝しております。ありがとうございました。

学校支援室長 あいさつ

私は、双峰小学校と唐竹小学校の両校に勤務したことがあり、両校の子どもたちと関わってきました。大好きな学校が1つになるということで、どんな学校になるのかが楽しみで仕方ありません。現在は、二村台小学校に職員をどのように配置するかということを生懸命考えておりますので、先生方も活力をもって取り組んでいただき、子どもたちも元気よく、2つの文化が1つになって更にいい学校を作っていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

教育長 あいさつ

今回が最後ということであいさつをさせていただきます。本市で初めての学校統合という事業に取り組み、6年前に唐竹小学校に行き、PTA会長にお話をさせていただいたのが始まりです。唐竹小学校への愛情が強く、こんないい学校をどうしてなくすのかという話が多く、何度も説明会を開き、理解を得ることができました。開設準備委員会に、当時の唐竹小学校出身の方が3人もおり、これも何かの縁かなと思っております。皆様のご協力やご支援、多くの人に支えられている両校でありますし、今後続けていくには壁があるというご指摘もございました。教育委員会としては全力でやっていきたいと思っております。新たに開校する二村台小学校は、児童が増えるため、人と人の関りが多くなります。そして、外国籍の児童も多いです。日本では今後、少子化が進み、外国籍の方の力を借りないと立ち行かなくなることを考えれば、10年後には日本各地で双峰小学校と唐竹小学校のような外国籍児童の割合の多い学校が増加すると思います。校長先生が10年先の日本の姿だとおっしゃっているように、二つの学校が結びついて、日本国籍の子と外国籍の子が仲良く共生しながらうまく学び合っているような学校にしていきたいと思っております。今後とも、皆様のお力を借りながらやっていきたいと思っております。3年間ありがとうございました。

事務局 第9回をもちまして開設準備委員会は終了となります。  
後日、委員長から教育長に諮問に対する報告書を提出します。